週刊 磐城之實業

每週日曜日發行

發行兼編輯印刷人 大和田與兵衛
發行所 磐城之實業社
定價 一部金五錢 半年分[illegible] 一ヶ年[illegible]
廣告料 [illegible]
印刷所 大和田印刷所

本紙の主義信條

何人たりとも本紙を私用に供することを許さず[illegible]

入山炭礦と其の事業の概要

資本金 六百萬圓
拂込金額 四百二十五萬圓
積立金 百萬八千百五十圓

一、沿革 常磐炭は口碑の傳ふる所によれば、安政年間狐塚（現今の大浦村）の農夫片寄平藏なるもの綱木澤（現今の石城郡內鄕村大字白水不動澤）に於て石炭の露頭を發見せしに始まる當社の礦區は明治初年高崎五六、榮田智明氏等の所有なりしが、同二十八年四月二十八日入山採炭株式會社の設立と共にその經營に歸し、爾來時勢の變遷に伴ひ社運にも多少の隆替を見しと雖も、業績は逐年隆盛し資本金の增額、鑛區の擴張となり、今日の盛況を見るに至れり

二、鑛區坪數
採掘鑛區 五、四九八、九八五坪
試掘鑛區 一〇、六五二、六四八坪

三、採掘坑

坑名	所在地	地表直下	開坑年月日	坑形	作業別
第五坑	石城郡湯本町大字湯本	九〇〇尺	大正四年十一月	斜坑	主力坑
第六坑	同 同	一、二〇〇	昭和三年九月	同	主力坑
第四坑	同 同	四五〇	明治四十年三月	同	補助坑
川平坑	同內鄕村大字白水	二五〇	明治二八年六月	同	休業中
鹿野坑	双葉郡廣野村大字淺見川	四〇〇	昭和三年三月		休業中

四、地質及炭層 常磐炭田は南川尻より北勿來町に至る一帯の地區にして當社はその中央に位置し挾炭層なる湯本炭層を占有す、地層は第三紀中新期層にして、砂岩及び頁岩の五層より成る。炭層は三箇山に露れ東に向つて平均十度內外に傾斜せり、炭層は六層あるも主要層は上層、本層及び下層とす、上層は地表よりの第二層にして厚さ四尺內外、本層は第三層にて上層より百二十尺內外の位置にありて其厚さは八尺五寸と夾雜物なく常磐炭中最も優良品なり、下層は第四層にして本層より一尺乃至十八尺の位置に在りて厚さ五尺內外なり

五、炭質 非粘結性瀝青炭にして多少の硫化鐵及び石灰石を伴ふも火焔長く粘結性皆無なるを以て汽罐燃料及び各種工業用に適す常磐炭中の優良品たり

（表析分）

水分	揮發物	骸炭	灰分	硫黄	固定炭素	比重	發熱量（カロリー）
五、六〇	四八、一三	四五、九七	四、四三	三、三七	三八、九九	一、三〇	七、〇〇六

六、年產額
昭和二年 四一三、九一〇瓲
昭和三年 四三四、四三〇瓲
昭和四年 四一五、四九四瓲
昭和五年 三八三、二九七瓲
昭和六年 三八五、九九三瓲
昭和七年 三五七、五六七瓲

七、採炭法 第四坑は上層及び本層を採掘し第五坑及び第六坑は專ら本層を採炭す採炭方式は殘柱法と長壁法とを併用し前進又後退による採炭面の長さは十五間乃至六十間にして採掘の大部分及び主要坑道開鑿等は手掘にて充塡する石を採掘及び之が運搬は機械化せられ其使用せる主なる機械を擧ぐれば左の如し

コールカッター サリバン CE—2 一臺
コールカッター パイエン 一臺
カツター
電氣ドリル シーメンス製 一臺
壓氣ドリル ホールマンハンド
ハンマードリル 七十臺
壓氣ドリル インガーゾーランド R—39 三臺
コールピック入山改造のもの 一臺
之に要する壓搾機
二段可動翼回轉式 三百馬力 日立製 一臺
横型往復式 五十馬力 米國ペンシルバニヤ製 二臺
同上 同上 日立製 二臺
竪型往復式 百馬力 英國センチネル製 一臺
竪型二列筒 三十五馬力 米國製 一臺

八、運搬法 各切羽にて採掘したる石炭は從來の手押による所あるも運搬機械として
チエンコンベヤー 十馬力
シエーカーコンベヤー 十馬力
を使用し炭車（容量〇、六七瓲）に積み込み各部より電氣捲きにて本斜坑下に集中し本捲き（電力及び汽力）にて坑外に捲き揚げ選炭場に送り選炭の後同所に接續せる積込ポケットに移入し更に貨車に積込市場に發送せらる

九、選炭 總て電力を用ひ塊炭中より硬炭の選捨のみ手選による

選炭の方法

（炭車）—チプラースクリン
塊炭—ピツキングバンド—（ポケット—貨車—市場
硬炭—捨
（一吋半以上）
粉炭—ベルトコンベヤースクリン
小塊（二分ノ一吋以上）
中塊（八分ノ七吋以上）
硬炭—捨
細分（二分ノ一吋未滿）
（一吋半未滿）
チツカーエレベーター—コンベヤー—各種別ポケツト

選炭機の能力は一日（實働）千五百瓲、積込作業力も亦千五百瓲、積込場は同數の收容力を有す

十、排水設備 排水は總て電動タービンポンプを用ひ坑內各方面の湧水を各中間ポンプ座を經て坑下ポンプ座に集中せしめ十二吋鐵管を以て坑外に排出す、現今の水量は各坑合せて每分時約八百五十立方尺、使用ポンプは大多數ズルチエール式にしてヘッド千貳百尺揚水能力百立方尺、四百馬力のもの拾四臺（豫備共）及び六百尺、立方尺、貳百貳拾馬力のもの參臺を其の主力とし此の大小合せて數拾臺を備ふ

十一、通氣設備及保安 主要坑たる第五六坑は高さ九百尺の排氣豎坑坑口に能力貳拾五萬立方尺（一分間の排氣量）のシロツコ式五百馬力電動扇風機（電動機豫備完全を備ふ）を設置し通風に備ふ
第四坑はバッファロー式及びシロッコ式貳臺を使用す
第五六坑の通氣量を示せば左の如し
每分四五、三七三立方米（入氣）
一人當入氣量一三四立方米（每分）
保安 採炭上の保安に付いては特に係を設け其の任に當らしめ、常に時々各切羽の瓦斯測定をなし、張り出し、張り切り、撒水及び扇風機の使用により瓦斯排除を行ひ出水に對してはボーリング、防壁、ダム等の方法により、火災に對しては各所に消火栓消火器の備へ付けをなす、照明は電燈及び多式安全燈による

十二、附帶事業 當社の用機械器具は製作修理自營のため木工場、鍛冶工場、鑄物工場、電氣修繕工場、機械工場等を設け操業に必要なる一切の設備をなす

十三、商品 當社石炭の銘柄左の如し此の外注文に應じ所用の炭種を供給することを得

名稱	摘要	名稱	摘要	名稱	摘要
入塊	吋半乃至六分	入粉	吋半以下全部	並粉	六分以下全部
中塊		小塊	六分乃至四分	細粉	四分以下
四塊		四粉	吋半以下全部	煉炭	マツセク型

十四、販賣方面 當社の石炭は關係會社たる東京市京橋區銀座參丁目四番地大倉鑛業株式會社に委託販賣し、販賣先は鐵道省を主とし其他諸官省、東北本線、常磐線、水戶、高崎、兩毛、信越、奥羽、中央、總武、東北鐵道沿線の製糸紡績、製鐵、セメント、醸造其他工場用並に各地家庭燃料用とす尙ほ最近當社粉炭を原料として煉炭製造を開始せり、生產能力一日（實働）五十瓲、其の特徵とする所は燃燒力大にして火持よく灰分共に少く而も價格比較的低廉なり

十五、從業員 職員數百三十八人、鑛夫數一千五百九十八人、大部分を社宅に收容す鑛夫住宅は之を四ヶ所に區分し、區長を置き、鑛夫の教化衞生其他婚姻死亡出生等の私事に亘り懇切に監督斡旋を爲す、鑛夫の勤務、職工は一日二交替（二交替）坑夫は三交替とす

十六、（福利）施設
イ、立國勞働自治會 大正拾五年拾月創立 忠誠報國に率じ人格の向上を計るを目的とし、當礦全從業員を以つて組織し、思想善導、災害豫防、保安設備に關する事業を行ひ、尙共濟事業部を設け會員及家族間の相互扶助を講ずる外每月機關紙自治會報を發行して會員に無料配付し常に礦の時事を知らしむ
ロ、健康保險組合 大正拾五年拾月設立認可、被保險に對し坑務所附屬入山病院に於て組合規定による一切の給付を行ふ、近來衞生思想の普及と坑內保安係の努力とにより設立以後、給付を受くる者漸く減少し、被保險者の保險料は全國炭礦中最低額にして一日一錢八厘（一[illegible]に付）に過ぎず
ハ、醫事 附屬病院には各科を設け、病室數拾室、收容人員二十八名、醫員九名、看護夫十八名、事務員三名、治療費及藥價は醫師會規定の半額とす
ニ、教育 元四坑事務所附近に公立入山尋常小學校を設け、校費は當社に於て之を寄附す、生徒數千二百餘名、悉く當所從業員の子弟なり、尙ほ同校を卒業したる子弟のために入山鑛業補習學校を設け志望者に普通補習教育を施し居れり、修業年限を三ヶ年とす
ホ、懇談會 每月一回、從業員の主なるものを會合せしめ、其の日常抱懷せる意見、希望を忌憚なく談合し能ふ限りの便宜を計り福利增進と相互和親の實現に資す
ヘ、物品供給（購買部） 米、味噌、其他一般日常品を實費供給するの目的を以て四ヶ所の配給所を設け從業員の便宜を計る、尙廉價なる市場を二ヶ所に特設し地方人をして野菜生魚を自由販賣せしむ
ト、其の他の事業 男女青年團婦人會を組織して思想の善導、婦德の涵養に資し、講演會、映畫會、音樂會を開き又鑛山名士を招聘し講話せしむ尙は入山在鄕軍人にありては每年陸軍記念日には附近の山地に於て演習なる演習を爲すを例とす其他年中行事には各種スポーツ、武道、音樂、園藝、撞球、蹴球、謠曲、浪曲十餘の部門あり、慰樂の裡に品性を陶冶せしむ此の外倶樂部二ヶ所、映畫場及びプールを設く
チ、退職手當金は二ヶ年以上の勤續者にして退職又は死亡の場合に給與す、賞與は年二期に支給し、尙ほ年功慰勞金も給與し從業員を慰ふものとす

東北六縣工業會社八年度實績

仙臺鑛務監督局調査、東北地方工業會社八年度の實績（單位圓）

	八年度	七年度
秋田縣		
會社數	三三	三三
資本金	[illegible]	[illegible]
拂込金	[illegible]	[illegible]
積立金	[illegible]	[illegible]
利益金	[illegible]	[illegible]
配當	[illegible]	[illegible]
青森縣		
會社數	[illegible]	[illegible]
資本金	[illegible]	[illegible]
拂込金	[illegible]	[illegible]
積立金	[illegible]	[illegible]
利益金	[illegible]	[illegible]
配當	[illegible]	[illegible]
宮城縣		
會社數	[illegible]	[illegible]
資本金	[illegible]	[illegible]
拂込金	[illegible]	[illegible]
積立金	[illegible]	[illegible]
配當	[illegible]	[illegible]
岩手縣		
會社數	[illegible]	[illegible]
資本金	[illegible]	[illegible]
拂込金	[illegible]	[illegible]
積立金	[illegible]	[illegible]
利益金	[illegible]	[illegible]
配當	[illegible]	[illegible]
福島縣		
會社數	二〇	[illegible]
資本金	[illegible]	[illegible]
拂込金	[illegible]	[illegible]
積立金	[illegible]	[illegible]
利益金	[illegible]	[illegible]
配當	[illegible]	[illegible]
山形縣		

讀者の聲

由緒の深い大祓に就いて

六月三十日に行はれた平町縣社の大祓式がありましたが聯か此の大祓式なるものに就ての概念を申上げたいと存じます由來大祓なるものは一般民衆の

大參加 をさせべきものであります

內外不穩の氣配が當局の眼を逃れて地下に深く國民の秩序を亂る根をはらんと狂奔し外部正常なる民族力の發展を阻害し國際的には關係國際聯盟により軍備制限會議を催す等によつて阻止せんとし天災は或は水害に大暴風雨に或は旱害に容易に跡を斷たず內に外に生活の不安の解消しない現下に大はらひの民衆化は時宜に適しとの時に當りこの大はらひに際する一考察も無駄ではないと思ひます人類の生活には幸福と不幸との二方面があり各その原因は多いのでありますが

不幸の 原因は罪とけがれから發して居りますかりそめの病より苦しみの床に臥せるのも思はぬ傷害に遭ふて惱みの不具となるのも或は火災、水災あらゆる禍災は罪とけがれとが原因であります人類が幸福になるにはどうしてもこの罪穢を消滅させることが必要でこの罪穢消滅是れが數へてあります然らば罪とは何か、けがれとは如何かと字義的說釋に先人の說を要約します

罪とは 包み隱すべき事の包の略といふのが一說で人類生活には愼しむべき事のつつしむの略であるといふのが一說それから罪は積む即ち停滯の意が語源で人の惡い行ひは殊に目立つので其の集積を罪といふ等と色々說いて居り、說き方は種々異つて居ても其の根據は人類に不幸を來たす原因を指して同一であります穢れは氣枯れです氣とは元氣、意氣、生氣、靈氣等の氣と同じて枯れるは木が枯れると同じ意味であります後世轉じて此の枯れた物に觸れる事を穢れるといふに至り現今穢れるといふのは多く後の

場合で ありますが廣い意味では木や葉の枯れるのも一種の穢れであります人間の死亡等は勿論穢れであります我々の祖先は大體罪を天津罪、國津罪の二通りに分けて考へて居りました天津罪とは總て上古の罪で當時は農業を本位として立つて居りましたから農業經營上のあらゆる障害となることを數へ立てゝ天津罪としました、現今のストライキに工場に放火したり機械を破壞する等

目的の 爲めには手段を擇ばずと暴行を働くのは天津罪であります、國津罪とは身體上の罪即ち身體に危害を及ぼす罪であります、自分の身體だからといつて不攝生するのは立派に國津罪であります、これらのけがれや罪が人類にいかに不幸を齎らすかは今更說明におよびませんそこで必然的にはらへの行事が起りました、朝起きるとまづ顏を洗ひます手をよごれるとすぐ手を洗ふ、昨今の如く暑くなると一日の業を了ると行水をせずには居られない

是等は 皆一種のはらへであります

これよりは儀を古事にとることになりますから此處でご免を蒙つて以上の事を申上げて置くことと致します

廣告は
大衆の支持ある
磐城之實業へ

町村會は斷然政黨を排撃すべし

江尻中

◎町村會より政黨を排撃すべしとは僕は多年の希望であつた僕々村會に黨爭せられて漸く其目的を達することが出來ず我が町村會には政黨政派の爭もなければ徒黨も組まぬ一に村民の福利を増進する方策のみ專心一意村議一同和氣藹々の内に何れも議了して行くことになつた

◎自治制妙諦は舊慣を破り保相助の精神を以て團體的向上を計るの欣びを見ることである然るに何ぞや今日の町村税は多くの滯納を來し小學校教員をして殆と飢餓線上にあるの窮境に沈淪せしめてをる又最も公平に賦課すべき町村税は其黨派黨員により甚だしき不公平と偏頗がある是れ皆多年政黨員が其黨與を増加せんとて策動した積弊の結果で自治制度破壞の前提である

◎國税は成大なる權力の下に徴收するが故に滯納も小額である滯納者が多くあるのは當該官吏の無能に因るものと僕は斷言するものである

◎町村税は自己の行政を行ふに必要な税金なることは滯納者は知しをるも自分の町村の自治行政が氣に入らぬから納めぬなど叫ぶものさへ出來た

◎生活困難なるがために村税納めの資力を缺くものとせば別然らずして年々滯納者が増加の傾向を生じ殊に公吏より有權の地位の人々が滯納してをるために町村に於ける諸經費の支辨を完全に行ふを得ざる狀態の町村も向きが多い是れでは國家の前途も憂慮であり永久の繁榮は期せざらるゝであるお互は斯くした原因を研究し協力以て其防止に努力せねばならぬ

◎吾人は其原因は町村政は黨「政黨」の爭はれざる結果であると想ふ其責任は町村の黨派者町村會が偏りにも町村の爲めに總の政黨的行動にのみ汲々たる町村民の福利増進などは遂にしたくも彼等の頭腦には皆無であつたからである

◎彼等は今一足早く政黨の爲に乘じて飾つて來たことを悟らなかつたか政爭を何の必要あつて町村政に浸入せしたか此れ等は最後の町村の有志者が其責任を分つべきものである

◎今後の町村民よ彼等は能く過去の町村政の過去を顧み新らしき天日の下にお互に政黨を排撃して手を採り合つて新政の欣びを生むべく進まうではないか

◎更に町村當局も宣布の「御勅語」を再讀して大いに悟り銘感すべきである

前途憂慮の助役問題

推薦の停頓？夫れとも 押△掛△け△女△房△か△ 寧ろ豫算返納が當然

平町高級助役增設は何に出發して理事者は之を提案したか、町會又何の理由を以て承認したか今更に町民は不可解で堪まらない先づ町長が女房にしても良からうと口を開いた警察署長の古手▲狩●猎●は町會議員の多數が大平町の政務助役ともあらう者に巡査下がりの彼ではご免を蒙ると兩諸結婚前の野合に流議の要目を見せられてしまつてからは町議中からの風評が漸次具体化して町民の注目をひき興味を喚つて來た、佐々木若松鈴木光吉の兩君で何れも政友會即ち研究會のご通中同志の間柄であるが十三名を擁する同會に二派の流れがあり裏面に於て派の反目あつて政界お蔭なりの一致も表面に解決する諸者にて他派と通謀するより可能性はの如きさるゝの關がある佐々木若松の如き政友會の常任幹部を脱離し一時は場合に依つては町政の爲めに献身的努力を發へも前自に一派を開脱しつゝあり一方鈴木光吉は他派に渡りを付ぐ第十一派は佐々木派の氣勢を揚げて除に佐々木反對派の氣勢をあげるが如き形勢を顯まる賦所からの打ちこはし頭いのもとから此處を以て町村制第六十三條には「助役は町村長の推選に依り町村會之を定む」とあるから今の

んのお氣に召さぬ人物では當然問題となるまい、然も右兩君は町長は斷然推選せぬと議員の二三に聲明したに至つては今後果して町長の推薦する人物を町會は滿場一致で承認するや否や頗る疑問である一体助役級の人物を自由討究するに於ては必ず不足があるもの此時に當つて細理的の理由前から人物討儀に滿足せずとの理由で反對派は承認を與へぬとも限らず、恐らくは今度の問題を契機として職責の明なるものがあらう此際に於てか斷然高級助役の設置の否や其の假役をかなぐり捨て八百圓の豫算は町民の興論に從へ豁々と豫生すべきもの町會を開へて返納すべきものである

斯くする時は町長と町會と共に理る正當な職務は恐れて不和に町政の施行を見ることが出來ることであらう

東北振興の基礎的工作

町村會は市北六郡聯合町村會北部十七、相馬郡、雙葉郡代議士、各派代議士、館代議士、及縣議の一致を得て、各派代議士をも加へて政治團体とするもので、まづ東北振興の工作の第一課として「一政治打破」をスローガンにかゝげ從來の中央に對する開催的政治運動の態度を捨て東北の特殊事情に則した政治的施設を要に公の設備改善を權利として政府に要求し東北振興の基礎的工作に入らうとするものである

保險十字街 【其四】

火災保險の部

◎新日本火災海上保險株式會社
東京麹町區有樂町
（資本金）五百万圓拂込百二十五萬圓
（設立）大正九年八月二日

◎日本海上保險株式會社
大阪市西區江戸堀
（資本金）一千萬圓拂込二百六十五萬圓
（設立）明治卅九年三月十三日

◎日東海上火災
大阪市
（資本金）二百萬圓拂込五十萬
（設立）大正六年十二月一日

◎東京海上火災
東京市麹町區丸ノ内
（資本金）三千五百萬圓拂込同
（設立）明治十一年十二月十二日

◎東洋海上火災
東京市麹町區丸ノ内
（資本金）三百萬圓拂込七十五萬圓
（設立）明治四十一年五月四日

◎大阪海上火災
大阪市
（資本金）一千萬圓拂込二百七十九萬圓
（設立）明治二十六年十月卅一日

◎神戸海上運送
神戸市神戸區海岸通
（資本金）一千五百萬圓拂込三百七十五萬圓
（設立）明治四十年四月九日

◎大東海上火災
東京麹町區丸ノ内
（資本金）二百五十萬圓拂込六十二萬五千圓
（設立）大正七年六月廿六日

◎大正海上火災
東京市日本橋區室町
（資本金）五百萬圓拂込百二十五萬圓
（設立）大正七年十月十二日

東北の土地代價

三十二億四千萬圓

東北地方六縣下の有租地は昭和八年に於て價格一億七千二百五十二萬二千二百三十七圓と算定されてゐるがさて東北地方に於ける土地代價は何う見積もられるべきか？關係各縣では昭和五年に施行された內閣統計局の國富調査統計に基き目下これを分離してSOS脫出の資料として更生の明るなスタートを切るべく努力中である斯くして分離計算された東北の土地代價は國有、公有、私有の三者を合体して三十二億四千八百三十七萬八千圓と出た初めて世に出るこの數字を更に分類して田畑、宅地、山林の代價について見る

水田

十二億七百十一萬六千圓、評價標準一反當一青森二七〇圓、秋田二三〇圓、岩手一九〇圓、宮城二三〇圓、山形二五〇圓、福島二四〇圓

畑地

三億二千四百二十五萬圓評價標準一反當一青森六九圓、宮城一三〇圓、山形一六五圓、岩手五五圓、秋田八〇圓、福島九九圓

宅地

七億四千五百十九萬八千圓評價標準一反當一青森一、一七〇圓、岩手八四〇圓、秋田一、〇二〇圓、福島一、二九〇圓、宮城一、七七〇圓、山形一、五三〇圓、

山林

三億五千九百四十八萬八千圓評價標準一反當一青森六四圓岩手二一圓、宮城一五圓、秋田三〇圓、山形三九圓、福島二〇圓

各縣別に見たる面積

昭和八年調査による各縣耕地及宅地、山林の面積は次の如く分類されてゐる（單位町歩）

	田	畑
青森	六六、四七七	五五、八八〇
岩手	五四、五四八	八四、五四四
宮城	九〇、四〇八	四四、三六八
秋田	一〇七、一三五	三二、八〇五
山形	九八、四五五	四一、六七〇
福島	九六、九〇八	八八、八三〇

	宅地	
青森	七、七〇一	一二五、四二五
岩手	一〇、一六六	四三八、九六六
宮城	一〇、一六八	一七五、一九八
秋田	八、九七〇	一五五、一三三
山形	九、二三〇	一八七、六六〇
福島	一二、七六六	三二一、九七四

欠陷有や無や問題

これ四倉築港工事のこと也

四倉漁港工事に對し最近左の如き疑問の報道があつた

▲ ▲

四十萬の工費を投じ四ヶ年繼續事業で改修に着手した四倉漁港は南東北發展を計六百五十米の防波堤並に港內防砂堤（略圖參照）を完成し目下は三千五百平方米の船溜港内を平均水深三米突にすべく港内を繼續に掘切つて殆どの掘鑿中であるが最近に至り大體完成後の船舶出入口に一大缺陷ある事を發見築港事務所では第一期工事として擬細工事を施すべく計劃農林省にこれが申請をなす事となつた

この缺陷では船舶出入口は船溜場同樣干潮面三米突、附近出入口より沖合五十米突乃至四米突の水深であるが僅に水深が十五米突となる爲め波浪のウネリはこの漁港擁護に突き當り猛烈な勢ひをもつて船舶出入口を襲ひ航行中の漁船に對し常に危險を與へ萬一この狀態が持續すれば四十萬圓の工費を投じ漁港は何等利用價値がないといふ結果になるので築港事務所では第一期計劃の築港完成後更に第二期工事として工費約七八萬圓を投じ既設東北兩防波堤の端から平行に百五十米突の防波堤二本を水深十五米突の箇所まで突き出し十五米突の水深の箇所を船舶の出入口とし激浪を防止すると共に流砂を防ぎ漁港をして最も理想的なものにするのであるが、農林省が果して同案に賛成するか否かは頗る注目されてゐる

▲ ▲

以下は關根所長の談話の一節であります……四倉の漁港は東南北の延長五百五十米突の防波堤並に八千六百平方米突の船溜港は平均三米に掘鑿中でありまして今月の中頃までには完了の見込であります、之と同時に第三回の掘鑿箇所も堰堤の準備中でありますので早晩落手が出來得ることであります、該築港工事には昨今の處何等の缺陷らしい處を發見致しては居りません云々

廣告

入院室完備
松村性病胃腸科醫院
磐城平町南町 電話一〇六番

肉の御用命は
三二三屋
平町田町
優良品の自慢
牛も豚も

鱈浦燒罐詰製造
◎磐城水産工業株式會社
△營業課目▽ 冷凍部、鑛油部 魚市場、製造部
三井生命保險株式會社 大正火災保險株式會社代理店
社長 小野晋平
支配人 福尾伊太郎
小名濱町 電話六六・一一〇番

御融通案内
一、掛金擔保
一、不動産擔保
一、有價證券擔保
利子日歩貮錢五厘（手數料調査料等頂きません）
△但し當會社無盡の加入者に限ります▽
湯本信用無盡株式會社
電話四七番 振替仙臺七九六四番

鐵道省枕木 炭礦用諸材 御用達
材木商 佐藤三平
本店 福島縣石城郡内郷村 電話平四三〇
支店 福島縣双葉郡浪江町 電話浪江七三
出張所 福島縣西白河郡矢吹町 電話矢吹四二

八島屋商店
漁業、鰹節 肥料製造販賣 廻船問屋 鰹餌鰮販賣
立花雄七
福島縣小名濱港 電話一〇二番 電略（ヤシマ）又ハ（ヤ）

（新古）機械 電機
田邊商店
常磐線平驛前通り
電話二九四番

診療科目
一、齒科一般
一、口腔外科
一、レントゲン
中野齒科醫院
平町田町（松月堂向ひ） 電話五〇九番
院長 日本齒科醫學士 中野惠次
日本齒科醫師 西川誠

行風景　銀～町～平

支店長スナップ【二】

七十七　小原良武さん

『預金への預金は安心にて貯蓄付けよ』との經營方針で預金の吸收に努力を怠らぬ七十七銀行平支店では收期に貸付一千七百四十萬圓で預金は一千三百五十萬圓、先づ一ケ年を通ずれば七千六百四五十萬圓の出納高がある譯で此處に支店長として我等の小原さんは十餘名の行員を統轄して去る昭和七年の十月、黑磯支店次長から赴任以來磐城地方の金融界の爲めに努力し前途囑望されて居られるのである

×　×

平支店は大正八年の開設で滿十四ケ年を經過し、伊澤、佐藤、高橋、小原、山田、鈴木の各支店長を經過して今の小原氏に及んだのである、抑も七十七銀行は資本金九百萬圓、内拂込濟四百四十萬六千三百七十五萬圓、記者は昨日支店を訪れて左の一問一答を掲ぐる事にする

記者『小原さん御行沿革の概略を話して下さい』

小原『其の沿革は下の如くである近くは昭和七年一月三十一日に東北實業と五城銀行とを合併しましたが是より先、昭和二年末に宮城銀行、仙臺銀行の二行をも合併したのであります、また、由來七十七銀行は明治十一年故遠藤温氏等の努力で國立第七十七銀行として生れ明治卅一年銀行條例の改正に據つて組織を改め株式會社七十七銀行と改稱して今日に至つたのであります』

記者『御行の支店出張所や行員數は何程ですか』

小原『宮城、福島、東京の地域で營業し殖産興業の爲めに特に力を注いで居ります、支店は勿論、支店の數で**四十七**出張所が**四十二**個所であります就いでに取引先もお話し致しますが**遠くは滿鮮地方**に及んでコルレスポンデンス先は一千三百個所を越して居るのです』

記者『前期の業績を教へてはくれませんか』

小原『預金總額に於て七千百四五十萬、貸付金總額が五千六百六十三萬圓の處でしようが東京株式取引所の出納事務を取扱つて居る關係からコールローンは百三四十萬、有價證券總額は一千萬内外と云ふ處です』

記者『東京支店の關係……』

小原『東京支店には行員四十名常務取締役が一人常任と云ふ状態で擔當した滞納銀行係がます明治十五年株式會社の創立と同時の取引で光榮ある歷史があります一体我が銀行は半期に**金の動きとしては實に三十億三千八百萬と云ふのが前期の業態です**』

記者『いや驚く程の金額ですね地方銀行としては他に其比を見ざるの業績でしよう、處で株主として御紹介すべきご仁でもありますか』

小原『株主の方では福島は勿論ですが岩手、宮城、東京、愛知、北海道、千葉、宮崎、長野、山形、山口、京城、岡山、茨城、大分、神奈川、新潟、埼玉、朝鮮、樺太、福島、大阪、愛媛、福井、群馬、鳥取、青島、兵庫、静岡、栃木、取引先に及んでゐるのは三十七縣係であります、それから二百株以上の株主で出色者は福島縣株式會社社長鈴木三、佐藤傳兵衞、同佐久間、同俊、平館松保男の諸氏でありましよう』

記者『金の動きも多いだけに株主も殆ど全國的に渡つて居るのですね』

緻密にして謹直なる小原さんは質問を無駄にせず、要點を明けはず簡潔な應答の外なく唯營業一に專心するはお互相の職を守りて和氣藹々に滿ち業務之に從ふ態度で取り一方業務に邁進を遂げるの一方、地方の爲めを念頭に之を語つて居るのである

當地町に四尺の[illegible]を見、小玉川の硯石に工藝化を施へ浦内の山に興に於の風味を知り農村振興に野菜の保存法を研究し又の紹介を他の地方に其の勞をとり、鮮魚の加工に或は鮮魚の加工設備に資金融通に金融關係を結びつける處など平凡の銀行屋さんではない日曜、祭日の休暇日には地方農村に出張行脚して金融と産業の關係を講演する等、實際斯業に見る人材である

▲　▲

支店長　小原良武
次長貸付　菊地武人
出納　菅谷良之助、預金　小林淳守　椿真治、證券　宮路來作、田井治浩三、町金庫　賞間宗雄、計算　佐々木富吉

記者は再び小原さんを訪問して再度の記事掲載する事を約す

新聞往來

石城地方では縣内の新聞より讀者層に於て其多きを見せてゐる『いはらき』新聞の業績を示すことにして見よう

×

地方新聞はひとり『いはらき』に限らず全國的に經營難にあるが此の原因は

一、不況に依る廣告收入の減少（廣告行數の減少の單價の下落）

一、東京紙の進出に依る販賣數の減少と單價の下落

の二つに歸する

『いはらき』の昭和八年度業績は大勢に洩れず收支結算を計上して居る然し總收入金は前年に比し四千五百八十五圓七十六錢を増加して居る點の所爲には收入の内容を示してないので増收の原因を知ることを得ないが最近の『いはらき』は東京、大阪方面の新聞と著しき廣告が目立つて増加して居る増收の原因も多分このへんにあるのではないかと想像される

然し支出も又四千六百三十六圓五錢の増加を示したので折角の増收も効果を示さず七千百二十八圓二十六錢の赤字となつた、前期繰越損金と合せて二萬六千三百二十圓六錢を後期に持越して居る

好況時代三十萬圓の收入を擧げて居たのを思ひ合せて今昔の感が深い

それでも最近の『いはらき』は編輯に經營に相當いゝところを見せて居り其上新に東京版を發行し更生への努力自覺しきものがある

資本金	八〇、〇〇〇、〇〇
法定積立金	九、五〇〇、〇〇
別途積立金	六、〇〇〇、〇〇
借認金	一、四三二、〇〇
未拂金	一六、三一一、〇〇
借入金	六四、〇六六、〇八
支拂手形	八、三四〇、〇〇
借受金	三、七〇八、四〇
合計	一八八、三九九、六八
資産ノ部	
建造物	五三、四四八、〇〇
機械器具及活字	四三、〇一一、七五
備品及什器	三、八七〇、八六
支局敗金	四〇〇、〇〇
得意先勘定	三四、〇四一、九五
有價證券	六、三六六、七四
振替貯金	五〇、八〇
原料在高	一、七五〇、五〇
預金及現金	一、〇六八、〇〇
假拂金	二〇、〇〇
前期繰越損金	一九、一九一、〇〇
當期損失金	七、一三八、三六
合計	一八八、三九九、六八

一、損益計算書

當期總收入金	一五〇、四四四、二一
當期總支出金	一五七、五八三、八七
差引當期損失金	七、一三八、三六
前期繰越損失金	一九、一九一、〇
繰越損失金處分	
後期繰越損失金	二六、三三〇、〇六

◎◎◎◎◎堀江工業訓則◎◎◎◎◎

平町堀江工業及四倉町萬年瓦の兩會社では社員一同左記訓則をお互に守り居れりと云ふ

吾が身を鍛へ吾が心を鍛へて敵ましく吾が前に當らむ

風雨あり寒暑あり吾が身を鍛ふる所以

風雨可なり寒暑共に悦ぶ可し

艱難あり寒暑共に悦ぶ可し

職場周りよりよし逆境も亦悪からず

吾が心平かにして且明かなれば吾が前途にはいつも光明あらんのみ

唯深く己を省りて妄りに多くを人に求めざらむ

吾が言論せざるは吾が努力の足らざるなり

吾が誠の徹せざるは吾が信念の足らざるなり

努め努めて息まずんば事は必らず成らむ

勵め勵めて怠らずんば必ず勝かむ

願はくば常に我より勝れる人を師として常に我より後れたる人を扶け相共に吾らの道に進まむ

藝妓よ何處へ

私は没落しつゝある藝妓諸君に對しこゝに敢て一文を草するものだ、カフエー、バア等に追はれて不景の新田町も大分影響を感じて居るらしい、藝妓がバッタリ火の消えたやうな淋しさと良い對照だが現在の藝妓制度では藝妓を挽回し得る處の可能性がない、傳統的な日本舞踊、藝術的な洩れを缺いた動作、既にお座持に止まる點其等な一者では到底に倦き刺激的な刺戟を求めて複雑な興味のみを尊ぶ末梢神經の尖つた一九三四年人に取つては餘りにも夫れは生人形としてのみ扱はれるものにしか過ぎ無い、ジャヅ音樂が正統音樂を風靡してホワイトマンが成金になり友愛結婚のリンゼイが歡迎され、ダンス。ホールが日に盛なる時形勢のブルヂョアが勝の世に鑑みなる折柄本質的に頽廢の象牙の塔に立て籠つてゐる藝妓諸氏は容赦なく時代の推車の車轢と共に置いてけぼりを食ふ運命は實に必然性を持つてゐる

×　×

東京の新橋、赤坂、の錚々たる藝妓が時代のテンポには抗する能はず懸命に三味線を捨てゝダンスをやり然もエロ漫喫の舞踏の練習に敢勵になると江戸の粋を知つてゐる藝妓なんか情無くて涙を流すであらう處の變り方なのだ地方も都會では藝妓群の落ち行く姿が問題になるであらう決しておいた座敷に日本舞踊のかはりとしてダンスでも踊るやうになるものと推測される、何は兎もあれ現在の藝妓制度は變態性がない、時代のテンポが持つ内容的を具体的に取入れぬ限りに於て藝妓は望まれぬ

久之濱より

久之濱小學校に從來より奉職せる職員は教師は從如何にされて其後一年以上前より十一圓高の四十五圓で何でも町理事者とか學務委員とかに關係者からぬ者を雇入れたとかの風評は果して僞なりや

◎

工業學校の名目ある議員は日曜毎に演説採りをして居ても其の手當が支給出來るとは如何長の服心者なるが故にや其れともこの不始末を知らずに居るのか大いに注意を要す

營業と政黨は別問題

四倉花柳界に異狀あり

四倉町會議員で消防組頭の金成若吉さんは停車場前の居宅を開業に賣り拂つて其の拂つた金で藝妓屋を開業すると云ふ願書でよろしくあつて組合加入を申込んだ處が吉田、小澤の政友派の幹部連は絶對お斷りと開き直つたので愈に相談の君吉さんは憤慨其極に達しての文句に曰く同じ同志でもあり同僚でもあり飲み仲間でもあるのに加勢ご飯は濡情過ぎると此處は現の世の一番、今度に中止する譯にも行かずヨーシ反對藝妓で俺が藝者をしてみせると力んでは居るものゝ何か名案が無いかと思案投首とは人知れぬ夜中の胸の中で表面は大いに氣勢をあげてゐるがコリヤどうしても喧嘩解決は出來得ないものであらうか穴賢々々

地元にお陰のない大敷網

四倉町に於ける坂本大敷網事務所では使用して居る百餘名の漁夫に一般會計なるべく漁期間は殆んかりの形式をとつて金錢を渡さぬ樣に仕向け居るより各商店は更にお陰もなく殊に花柳界方では素見するのみで一杯の酒も飲まぬと云ふ有様で一期に少くも十數萬圓を水上げしても其八割方は縣外へ持ち歸るので漁の大漁に隣の不景氣をこぼしてゐる

良品廉賣●勝る商略なし
金物問屋
磐城セメント特約代理店
㊅釜屋商店
磐城平町五丁目
電話九番九九番
振替東京一〇九五六

仙臺高等工業學校長試驗證明
鐵道省御指定
茨城、福島、栃木、青森、各縣廳御指定
萬年瓦
萬年瓦工業株式會社
福島縣四倉町・電話三八番

◎牛乳の御用命は……是非！
若松兄弟牧場へ
平町柳町（電話五五二番）

内科。小兒科。外科。花柳病科
耳鼻咽喉科。レントゲン科
高久病院
院長醫學士　高久忠
平町田町　電話五一三番

小麥粉　蕎麥粉　大豆粉
飛行機印
國防饂麵
製造發賣元
佐藤製粉所
佐藤佐市郎
平正月町【電話五〇六番】

内科小兒科。外科。内臟外科
花柳病科。肛門病科
市原醫院
＝入院隨時＝
平町田町　電話一一四番

事業と人物欄

奮闘！更生！！

本縣の生んだ東都に活動する巨人

星一氏の全貌を語る【三】

ボスト郊外三ケ月の勉強によつて向ふ一ケ年の授業料を節約する事は出來たが何しろ物價の高い米國での大學生活だから日々の生活費にも相當の金がかゝる上に政治科生としては社會經濟學、經濟學を專攻し從つて政治史、殖民史にも及んだことて、これ等

廣汎な研究

に對する參考書を手に入れるにも莫大な費用を要する星氏にはその財源を何處に求めただろうか？奬學金制度の廣告によつて働き口を探し、ある女主人の家に傭はれることになつたが愈も其家に居つた三人の家族公人が何れも日曜ごとに外出して遊びたがるのを見て星氏は日曜日は用事も少く留守番同樣の仕事だから傭が

三人分働い

て君達を外出させてやるかはりに二圓宛に三人だけ晩午後一時から三時間學校に行く傭の不在中傭の仕事を三人でやつて呉れぬかと相談したところ三人の朋輩は皆喜んで同意したそこで星氏は約束の時間だけ學校に駈け付け講義を聞くことゝし其の以外の時間は忠實に立働つて働いたので主婦も非常に滿足するやうになつた氏は今度は主婦に向つて「私は大學の月謝を節約しましたが、私が心行くまで御用を努めて居ますと一時間も學校に行くことが出來ませんそこで御相談ですが今後は

無給て働

かせるやうに努め學校から歸ると一息入れる間もなく女中の仕事を助けてやつたのでその女も星氏の親切に感激して其の不在中になるたけ仕事を片付け、その修學を援けることに努めた主婦も兩人の親しい協力と忠實振りにはいたく感服し出來るだけ兩人を引つて使ふことにしたかくして連日疲れた身を電車にも乘らず徒歩で通學する健脚さに感じた金がなければ歩くのが當然です今お金を貸して電車に乘ると言ふことは約束を違へることになります學校へ行くのは良い人に成るのが目的です良き人になる方法を行ふのに遠約といふ觀念を置てる必要は無いそこで御相談ですが今後は

任務に活動

日に一杯涙

を溜めて「妾は親の代から此商賣をしてゐるので、英、佛、伊、太利人、スコッチ、ボルトギース、インデアン、支那人等あらゆる世界の人を使つて見たが日本人はお前が初めてだその初めて使つた日本人のお前……妾の此の目を御覽？こんな涙を米國人に出させた者は日本人のお前の外には世界の何處の國にも無いそこで妾は心から日本人を敬愛

彼女は狂喜

して居たしたがデユエツトなどの小唄を習つてその練習振りを指導して呉れたいよ〳〵當日となり氏が壁上に立つて一を聞くやうになると氏をして家内で練習の下稽古をさせ、アクセントを直したりデユエツトなどの小唄を習つてその練習振りを指導して呉れたいよ〳〵當日となり氏が壁上に立つて一を聞くや

面白い記事

を讀したいのですが私はまだ英文が十分でありませぬから奥さんがお手隙の時に私の文章を直してください、それを親爺社に賣れば奥さんから澤山謝金よりも澤山になりそれで電車に乘りも買へば私もお陰で助かり奥さんお金をも減らさずにすみます』と言ふと驚く星氏の立案を聞めて居た主婦は

異語演說

することになつた當時紐育在留の星氏としては實は窮餘の企てである殊にこの佳辰には常國の名譽の爲めに內外多數の貴賓紳士を招待するのであるから自分の星氏に取つては正に晴の無事であるこのことを聞いた主婦は益も自分の息子が檢無に出來るやうにと一生懸命に獨習し彼つたまして御の婆の添削は必ずにでもいてあげようと」

感極つて泣

くのであつた其れからは主婦の方から讀書を勸奬してまで添削して呉れたので之を親爺社に賣る親爺社は爭ふて買ひに來る、主婦はまたヤー〳〵八釜しく言つて働く傍つて呉れる等實力行の使徒たる氏はかくて

思はぬ大金

を得、愈々と學校にも通ひいよ〳〵目指す彼岸へ心せかるゝ身となつたのであつた、こうした努力もさることながらこの主女人といふのが、ボストンのハーバート大學を卒業した人物だけに何事にかけても那々えらい人である政時氏は日本領事館に於ける天長節祝賀會の席上で

神のものは神に……

『ホシ胃腸藥』は『ホシ』に

正義は遂に勝ちました。

六月十四日、東京地方裁判所に於て、株式會社大阪製藥所を被告とする商標權移轉登錄抹消手續」に對する左の如き判決言渡がありました。

判決主文

一、被告（株式會社大阪製藥所）は別紙目錄記載の商標權移轉登錄抹消手續を爲すべし

二、被告（株式會社大阪製藥所）はホシ胃腸藥、ホシアンチツベルケン、ホシチオール其他別紙目錄の商標を附したる商品の製造販賣を爲すべからず

內容は簡單明瞭であります。大阪製藥所は「ホシ胃腸藥」「ホシアンチツベルケン」「ホシチオール」等の製造販賣を禁止せられたのであります。絕對に禁止せられたのであります。「ホシ胃腸藥」はホシ以外にはないのであります。

需要者よ！正しき藥に來れ!!

正しき藥は『ホシチエーンストア』にて!!!

東京・五反田

星製藥株式會社

△三四年式シボレーに

是非！御愛乘下さい

御用命は電話二二二番へ

◆七臺に擴張＝新車揃ひとなりました

東京鐵道局公認

平驛構內タクシー

不二タクシー